

阪南水道事業 水道料金改定に向けた検討の開始について

1 阪南水道事業の現状

- 阪南水道事業では給水区域が沿岸部の市街地から住宅開発に伴う丘陵部まで広くまたがっているため、配水池等の水道施設が数多く点在し、維持管理に係る費用が高い

- 1か月に20m³を使用した場合の水道料金
3,122円/月（税込）

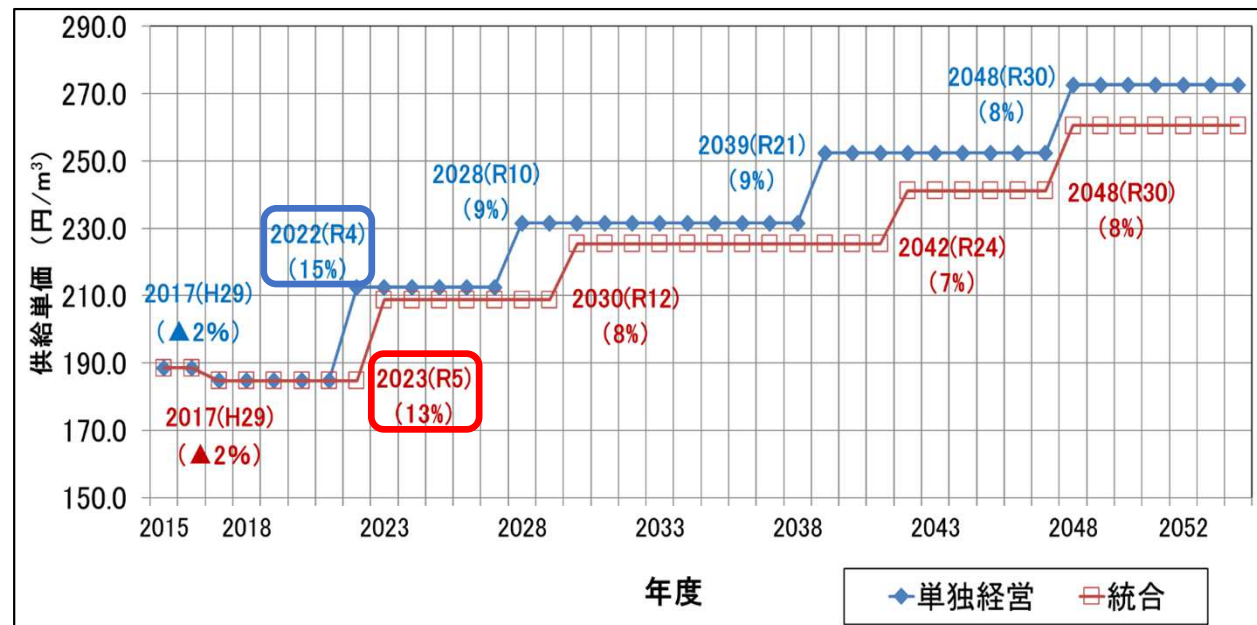
・平成29年4月 平均▲2%の値下げ

・平成16年4月 平均 8.98%の値上げ
(20年以上水道料金の値上げを行っていない)



2 統合案の経営シミュレーション

- 阪南市水道事業は平成31年4月に企業団と統合
- 阪南水道事業を含む企業団に統合した13の水道事業の経理はそれぞれ独立しており、阪南水道事業の水道料金は個別に設定（統合前の阪南市の水道料金を引き継ぐ）
- 統合の際、統合後の施設整備計画、経営シミュレーション、事業運営体制、統合効果について整理した「統合案」を策定
- 統合する場合は単独経営の場合と比べて、値上げ時期を延期、改定幅を縮小できる効果
【単独経営の場合】2022（R4）年に15%の改定が必要
⇒ 【統合した場合】2023（R5）年に13%の改定が必要
（値上げ時期を1年延期、改定幅を2%縮小）
- 統合案では令和5年度に料金改定を予定していたが、毎年の決算において損益及び資金残高が改善したため、料金改定を見送り



3 今後の財政収支の見通しについて

- 支出はほぼ同水準で推移するが、収入は給水人口の減により水道料金収入の継続した減少が見込まれるため、令和8年度以降、恒常的に単年度損益が赤字となり、赤字の幅が拡大していく見通し
- 令和8年度に事業運営に必要な資金（給水収益の3か月分）を確保できなくなり、令和9年度以降、資金が枯渇する見通し

単位：百万円

収益的収支	R5(決算)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
収入	1,064	1,071	1,015	1,037	1,023	1,010	993	972	950
支出	1,050	1,038	1,056	1,046	1,052	1,057	1,060	1,061	1,057
損益	14	33	※ ▲41	▲9 恒常的に赤字	▲29	▲47	▲67	▲89	▲107
資金	394	342	184	37 必要資金不足 資金が枯渇	▲125	▲206	▲390	▲527	▲666

※R7年度は単年度における要因による赤字

更新時期を迎えた水道施設（管路等）の更新・耐震化の着実な推進

安定的な事業運営を継続するには可能な限り早期に水道料金の改定が必要

4 料金改定スケジュール（案）

年度・月	令和6年度		令和7年度						令和8年度
	1月～3月		4月～5月	6月～7月	8月～9月	10月～11月	12月～3月	4月(予定)	
阪南水道事業料金検討部会	3月・水道事業の現状と課題 ●第1回部会 料金検討部会設置		4月・投資・財政計画を踏まえた料金水準 ●第2回部会	5月・料金体系の検討① ●第3回部会	6月・料金体系の検討② ●第4回部会	8月・報告案の検討 ●第5回部会	報告		改定後の料金の適用
経営・事業等評価委員会	開催						意見具申		
運営協議会 首長会議	総会			総会		総会	首長会議		
企業団議会	検討開始報告 ◆2月全協			7月全協			11月定例会 ◆条例改正		